

岳の棚田（たけのたなだ）

有田の山がちな地形を最大限活用するべく、江戸（えど）時代（1603～1867）初期の農民たちは苦勞しながらも多くの斜面に棚田を切り開いた。町の北西部にある美しい岳の棚田は、1999年に農林水産省から「日本の棚田百選」に選ばれた。約 570 の田んぼがあり、雨水を蓄え自然生態系を守るという重要な役割を果たしている。標高約 400 メートルの場所にあり、磁器の町である有田や伊万里の他、はるか日本海まで見渡すことができる。

棚田では、地元の団体が 1 年を通して様々なイベントを催している。岳の棚田館には駐車場があり、多くの人はこちらに車を停め、棚田の散策に出かける。岳の棚田ウォーキングマップには、訪れるからには見逃せないお勧めの散策コースや撮影スポットが掲載されている。一部は草が生い茂っているような 20 分の 1 周散歩コースや、舗装された道を歩く 35 分のコースが載っている。400 年前に作られた石垣や農業生活の面影を今も見ることができる。